

### 3-30 公設市場（圏域：全市域）

#### 3-30-1 施設再編の方針

<b>対象施設</b>
別府市公設地方卸売市場
<b>施設再編の方針</b>
<p>▶ 公設市場のあり方について、様々な運営形態や広域的な視点から、市場の活性化と経営力強化を図り、場内事業者の受益と負担を均衡させ、必要な施設整備を行う方策を早急に検討します。</p>

#### 3-30-2 現状分析

##### ① 施設の概要

生鮮食料品等の取引の適正化、流通の円滑化を図るため、昭和 57 年に整備されました。青果、水産、花きの卸売棟や冷蔵庫棟、倉庫、保冷库、屋外便所等がありますが、現在、冷蔵庫棟は使用されていません。

平成 28 年 3 月 31 日で別府市公設地方卸売市場は拠点市場から除外されましたが、平成 28 年 7 月 15 日に開催された大分県卸売市場審議会にて、平成 28 年 4 月に発生した平成 28 年度熊本地震を受け、大分一別府間の相互補完的な拠点市場の必要性を認識したことから、拠点市場として継続する旨、大分県卸売市場審議会の答申がありました。

##### ② ポートフォリオ分析結果

本用途は、市内に別府市地方公設卸売市場のみであり、比較対象がないことからポートフォリオ分析は実施していません。

品質状況については、築年数が 32.9 年と市全体の施設の平均築年数とほぼ同じです。

財務状況については、市負担額で算出していますが、16,961.7 千円の負担額で運営されています。

台帳番号	施設名称	占有面積 (m <sup>2</sup> )	品質				平均 偏差値 (ハード)
			築年数 (年)	偏差値	耐震 対応率(%)	偏差値	
322	別府市公設地方卸売市場	10,498.1	31.9	49.1	100.0	55.3	52.2

供給		財務		平均 偏差値 (ソフト)
1日あたり 利用者数 (人/日)	偏差値	市負担額 (千円)	偏差値	
0.0	—	16,961.7	—	—

図 77 各指標の基礎データ（公設市場）

##### ③ 老朽化の状況

昭和 57 年に整備され老朽化が顕著となっており、毎年度、施設修繕に多額の費用がかかっています。一般会計からの繰り入れで赤字を補ってしており、今後も多額の費用が見込まれています。

#### ④ 利用状況・コスト状況

##### (i)生産量の推移

利用者は青果、水産、花きの卸売業者と買受人です。直近10年間で取扱い高は約6割にまで減少しています。また、平成3年に約100億円あった売上高は、約40億円にまで減少しています。

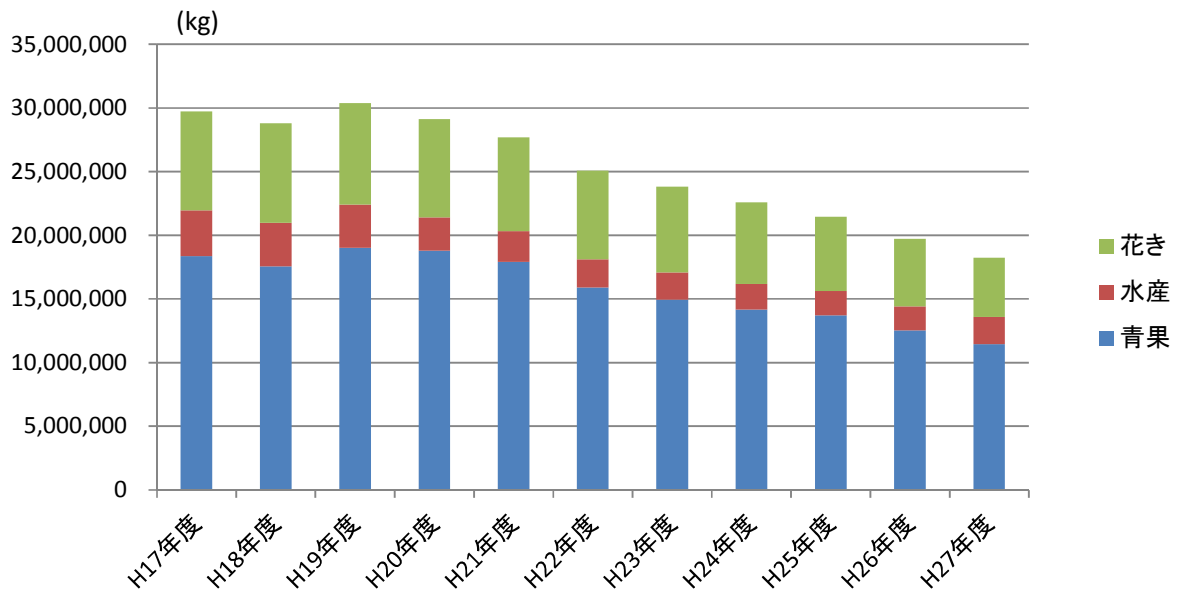


図 78 年度別取扱い高の推移

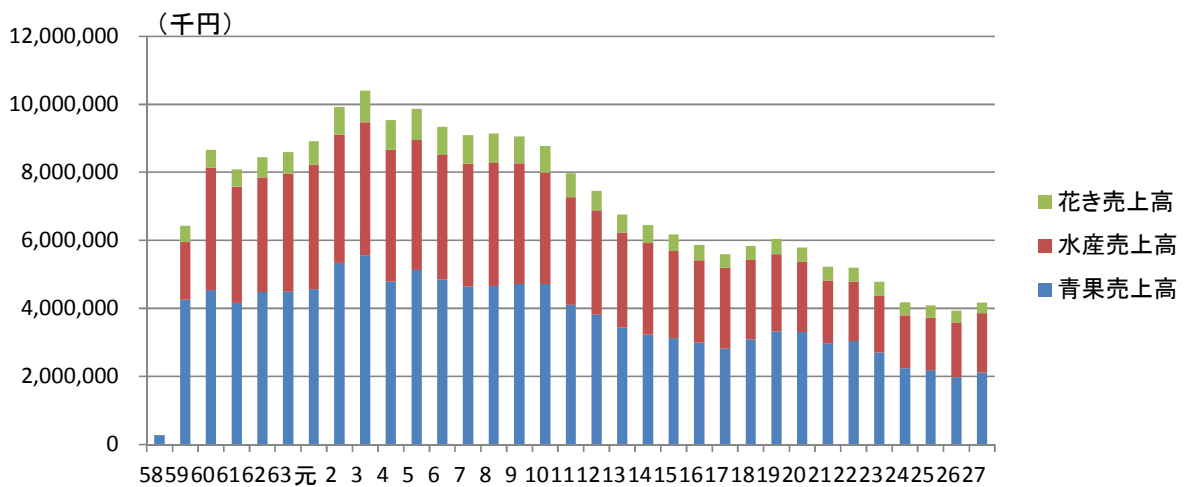


図 79 年度別売上高の推移

##### (ii)コスト状況

市民生活に直結した大規模な施設として独立採算が原則であるものの、収支状況は赤字が続いています。